



子どもたち一人一人が笑顔ですごく学校をめざして



思いやりの心を育てる:5年生の保育士体験

本校では近隣の幼稚園や保育園にご協力をいただき、毎年複数回、5年生の総合的な学習の時間で、「保育士体験」に取り組んでいます。今年も6月24日(火)に第一回目の体験を行わせていただきました。5年生の子ども達は、3グループに分かれて、さかえ保育園、折尾丸山保育所、折尾幼稚園に出かけました。自分に小さな弟や妹がいる子たちは、小さな子の扱いに慣れていますが、普段小さな子と接する機会の少ない子たちは、はじめはどうやって接したらよいか分らず戸惑っていました。しかし、さすが子ども達はすごいものです。次第に接し方や声のかけ方をつかんできました。そうすると、小さな子ども達のお世話をすることが楽しくなり、より笑顔で接することができるようになってきました。そして、頼られることのうれしさや責任感を感じるようになってきました。

先日、ある先生から聞いた話の中で、「思いやりの心」とは、自分の心が出発点で他とのかかわりの中で生まれてくるものだということを思い出しました。作家司馬遼太郎は「21世紀を生きる君たちへ」の中で、他者にやさしい自分をつくっていくためには、人が転んだ時に「ああ、痛いだろうなあ」と顔をしかめることだと言っています。どの子も心の中にそんな気持ちをもっています。それを大切に育てていきたいですね。



5年生 保育士体験



4年生 社会見学

世の中の様子を知る:4年生の社会見学

6月25日(水) 4年生は社会見学で皇后崎のごみ処理工場と、穴生浄水場を見学させていただきました。普段見ることができない場所を見学できて子ども達は大いに知的好奇心を刺激されたようです。「わー、すごいね!」「私はメモを10ページも書いたよ!」という声があちらこちらから聞こえてきました。子ども達の日常生活の中では、ごみはゴミステーションにだしたらおしまいです。水道は蛇口をひねればきれいな水がいくらでも出てきます。その先やその前は見えない部分です。その見えない部分でたくさんの人々が様々な仕組みや施設の中で仕事をして世の中を支えていることを子ども達は学んでいるのです。浄水場で説明をしてくださった方が、「自然の水の状態があまり良くないときに安全でおいしい水をつくることに苦労します。そして、安全でおいしい水ができたときは本当にうれしいです。」と話してくださいました。子ども達が大きくなったとき、そんなようにどこかで世の中を支え、人のためになる人に育ってほしいと願っています。また、社会見学などは子ども達がバスにのったり公共施設などにいたり学校外の方と触れ合う大切な場です。交通機関や公共施設などの使い方、人と接するマナー、相手に対する感謝の気持ちを養うことなどを育てていくチャンスです。学校でもそのチャンスを生かして指導を行います。ご家庭でもそのような折には、子ども達が世の中で生活していくために必要な力をつけていくようご指導をよろしくお願いいたします。

1 日 (火) 職員交通指導 社会見学3年	10 日 (木) スクールカウンセラー来校 13:00~ 5校時授業
2 日 (水) 心と体の何でも相談日	11 日 (金) 自転車交通安全教室5年
3 日 (木) 5校時授業	15 日 (火) 個人懇談会
4 日 (金) 規範教育学習 5,6年 修学旅行説明会6年	16 日 (水) 個人懇談会
9 日 (水) PTA役員会・理事会	17 日 (木) 給食終了
10 日 (木) 読み聞かせ(ばれっと3年) 読み聞かせ(つくしんぼ) 学校保健委員会	18 日 (金) 終業式
	21 日 (月) 海の日
	22 日 (火) ~24(木)夏の教室
	26 日 (土) 折尾市民センター夏祭り

《9月の主な行事予定》

1 日 (月) 始業式	6 日 (土) 自然教室説明会5年
3 日 (火) 給食開始	18 日 (木) ~19日(金) 修学旅行6年
6 日 (土) 夏休み作品展	